

第6回日本筋学会学術集会

The 6th Annual Meeting of Japan Muscle Society

PowerPointを使用した動画（音声有スライド）作成マニュアル

目次

最低限必要な機能	P.3
マイクの確認方法	P.4
注意事項	P.6
Windows PowerPoint2019/Office 365の場合	P.8
Windows PowerPoint2013,2016の場合	P.13
Windows PowerPoint2010（対応していません）	P.17
Mac PowerPoint for Mac 2019の場合	P.21

最低限必要な機能

1. 音声入力ができる環境

- ・内蔵マイクを使用すると設定が簡単ですが、ノイズの影響が大きくなります。
- ・ヘッドセットなど、外付けマイクの使用を推奨します。

2. 特定のバージョンのPowerPointを搭載していること

- Windowsの場合→ PowerPoint 2013, 2016, 2019, Office 365 のいずれか
- Macの場合→ PowerPoint for Mac 2019, Office 365 のどちらか
(Macの場合はPowerPoint 2019以降のみ作成できます)

推奨：Windows版：2016/2019/365 Mac版：2019/365

マイクの確認方法 Windowsの場合

「スタート」>「設定」>「システム」>「サウンド」と選択し、入力デバイスが登録されていることを確認します。「マイクのテスト」では試しに喋り、反応することを確認します。



9

- ・Windowsでもカメラ付きのPC（ノートパソコンなど）であれば、PC内蔵マイクで録音は可能です。（使用PCの仕様書参照）
- ・USB以外でも4極のミニピンのマイクがあればそちらで録音も可能です。（スマートフォン購入時に付属してくるマイク付きイヤホンなど）（下記画像参照①②）

上記以外のWindowsのPCをご利用の場合、USB接続のマイクが必要です。
マイクが内蔵されているMacのPCでは、USBマイクなどを使用せずに録音することも可能です。

①挿し口



②4極ミニピンマイク



注意事項

- ◆ 発表内容を5枚のスライド、3分以内の説明音声付き動画にまとめて、MP4形式の動画ファイルを作成して下さい。
- ◆ 非表示設定をしない限り、全てのスライドが動画に組み込まれてしまいます。プレゼンで使用しなかったスライドや動画に入れたくないスライドは、削除もしくは非表示スライドに設定してください。
- ◆ eポスターの提出方法 11月18日締め切り
 - ・eポスターの動画MP4ファイルの提出期間は11月4日（水）～11月18日（水）です。
 - ・案内メール記載のファイル交換サーバーにアップロードして下さい。

お問合せ先

名古屋大学大学院医学系研究科 神経遺伝情報学

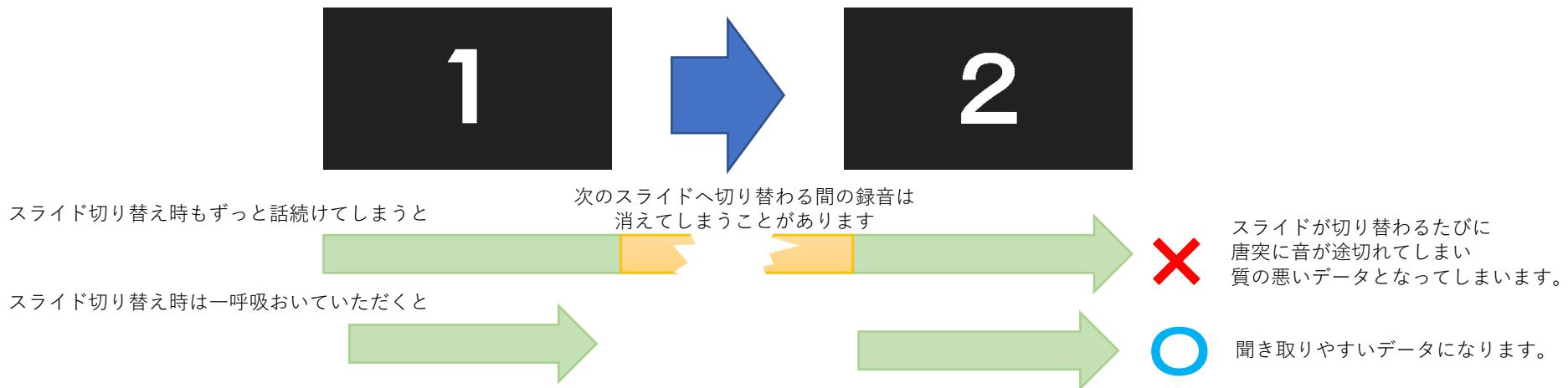
第6回日本筋学会学術集会 運営事務局

E-mail: myology2020@med.nagoya-u.ac.jp / TEL: 052-744-2447

録音時のポイント

◆次のスライドに行く前に一呼吸

PowerPointの録音は各スライドごとに別の録音データになります。そのため、話をしながらスライド切り替えをしてしまうと、その時の音声が途切れてしまうことがあります。次のスライドに進む際は、一呼吸おき、一瞬でも構いませんので、何も録音しない余白を作るよう意識していただくのがおすすめです。

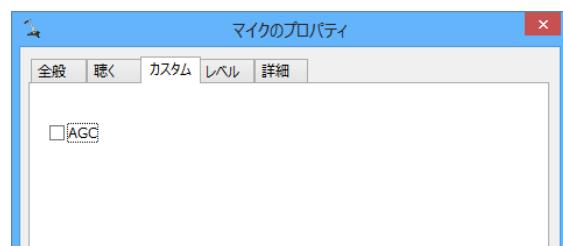


※なるべく一度で録音を終了してください。（修正すると、タイミングポイントに不具合が起こる場合があります）
録音をしなおした場合はタイミングポイントにズレが無いか必ず確認してください。

◆マイクの設定をご確認ください

※いきなり全部を録音するのではなく、試しに1枚目だけの録音をしてから実際にご自分で聞いてみていただき、音量・音質をご確認ください。

※音がゆがむ場合・自動的に音量が変わってしまうことがわかった場合は、マイクのプロパティを確認していただき「ノイズ抑制」「音響エコーキャンセル」「AGC（オートゲインコントロール）」「DCオフセット除去」など、音量などを自動修正する機能のチェックを外してみてください。（Windowsの場合。なお、マイクによってはこれらの項目はありません）



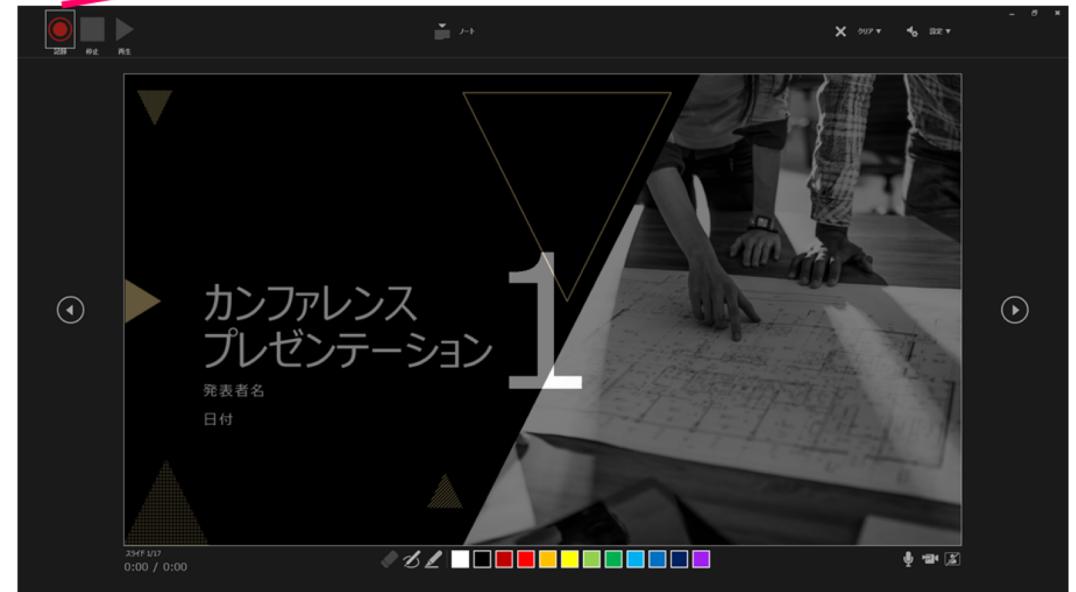
Windows
PowerPoint2019/Office 365の場合

①[スライドショー]タブをクリック



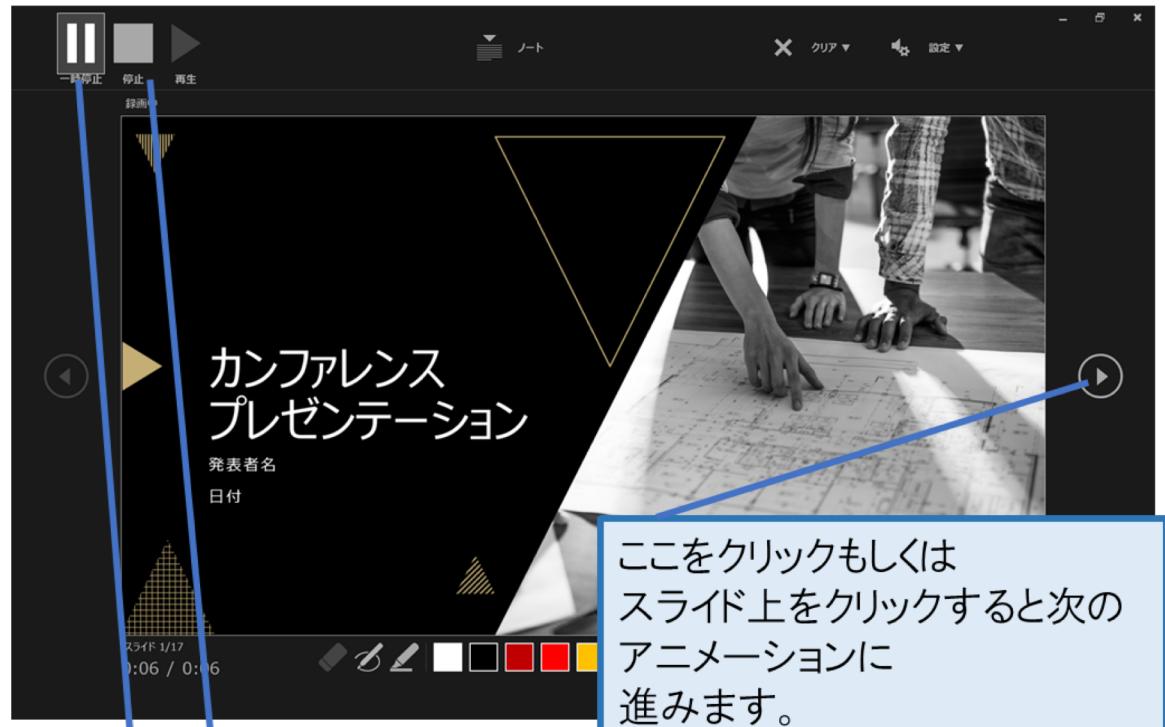
②[スライドショーの記録]をクリック

④[記録の開始]をクリック

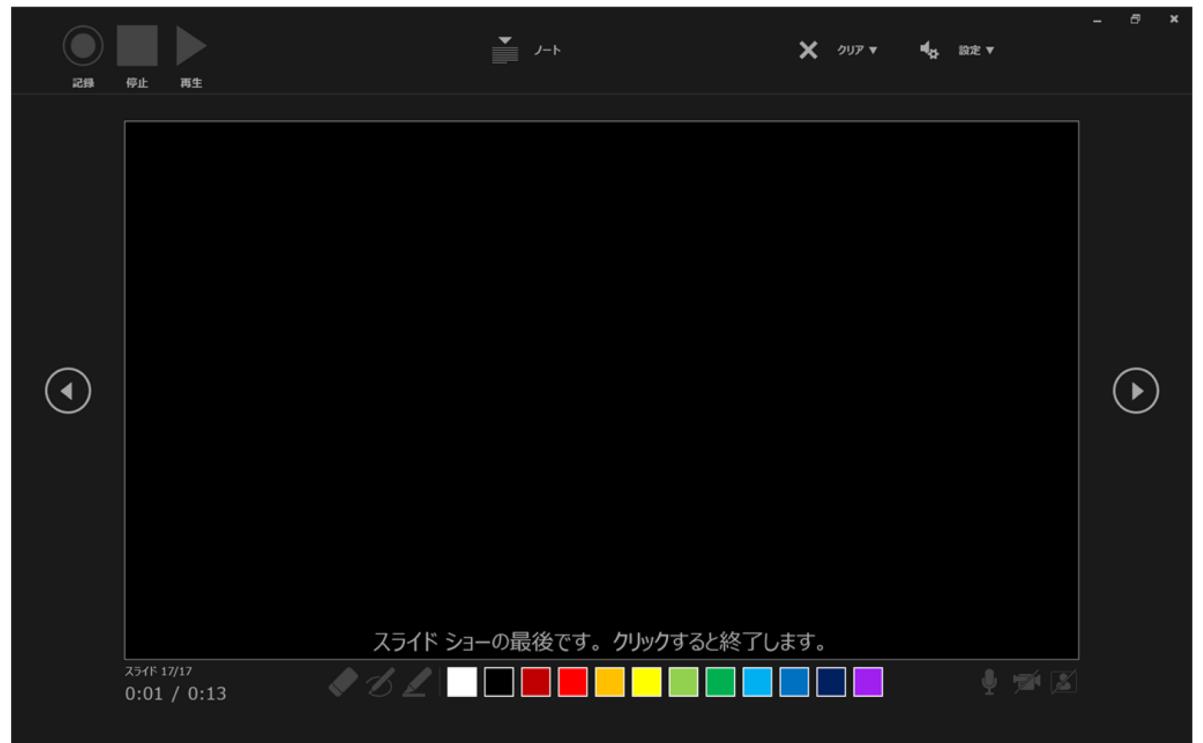


③[先頭から録音]をクリック

⑤マイクに向かってナレーション録音
スライドも任意のタイミングで進める



⑥下記画面まで進めると自動的に録画が停止になります。
スライドをもう1枚進めると元の画面に戻ります。



[記録の一時停止]をクリック
すると、再生中のアニメーションが止まります

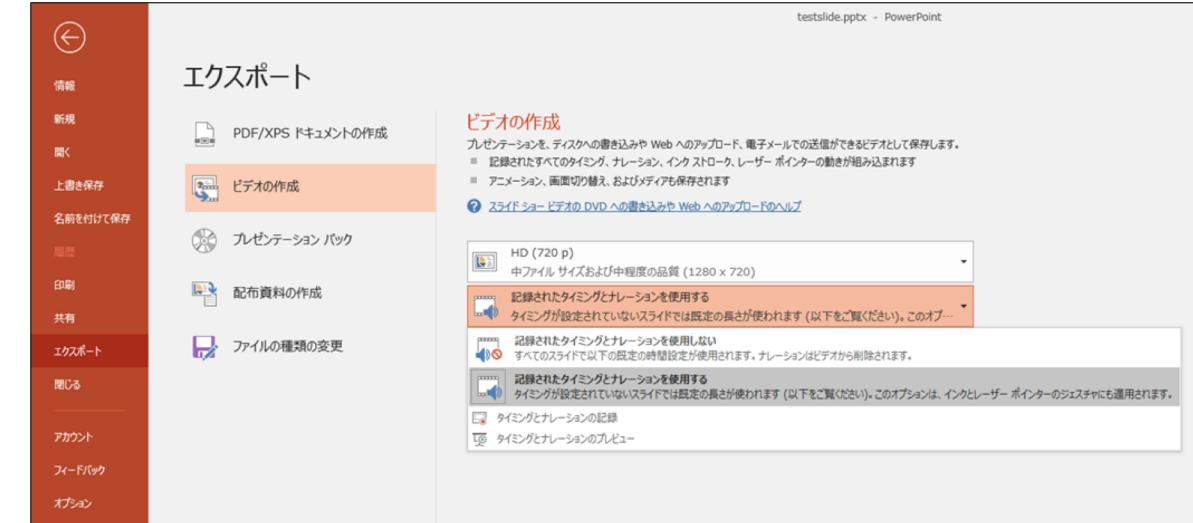


⑦スライドショーを最後まで進めて終了して、
スライド一覧表示にみていただくと、各スライドの
左下に時間が明記されていることを確認。
PowerPointを保存(新しく名前を付けて保存)する。
再度ファイルを開きスライドショーで確認して、
音声やスライドのタイミング等問題がないか確認。

⑧スライドを確認して問題なければ、書き出しを行う。
[ファイル]→[保存と送信]→[ビデオの作成]
で書き出します。



ビデオ解像度は[1920×1080]を選択



[記録されたタイミングとナレーションを使用する]を選択

最後に、「ビデオの作成」をクリックすると、すぐに「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。ファイル名を指定し、ファイル形式で**MPEG4形式**を選択しますと、**.mp4ファイル**が作成されます。
右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。

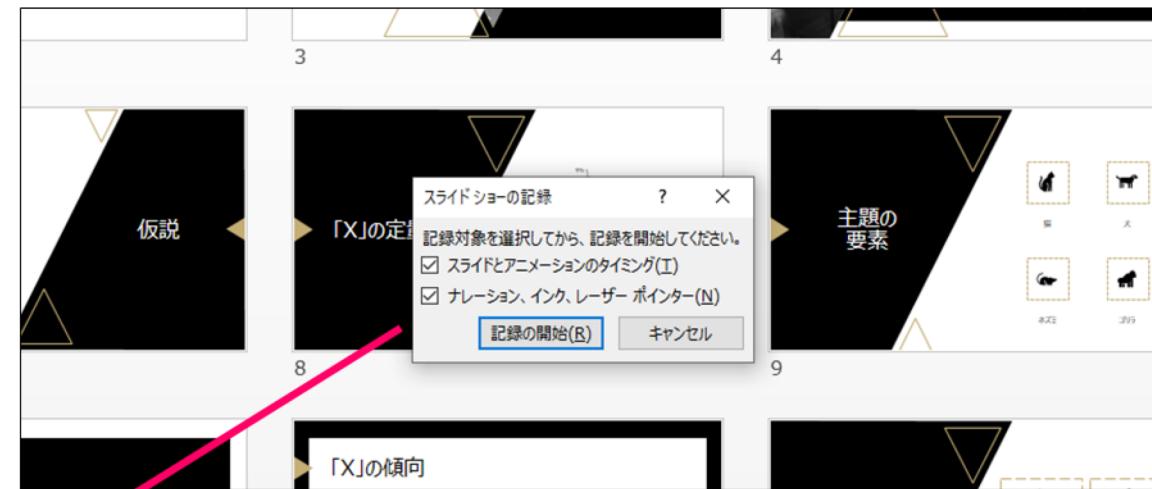
動画作成の進捗は、右下に表示されます。20分のスライドショーから中程度の品質(1920×1080)の動画を作成するのに約20分かかります。

Windows
PowerPoint2013,2016の場合

①[スライドショー]タブをクリック



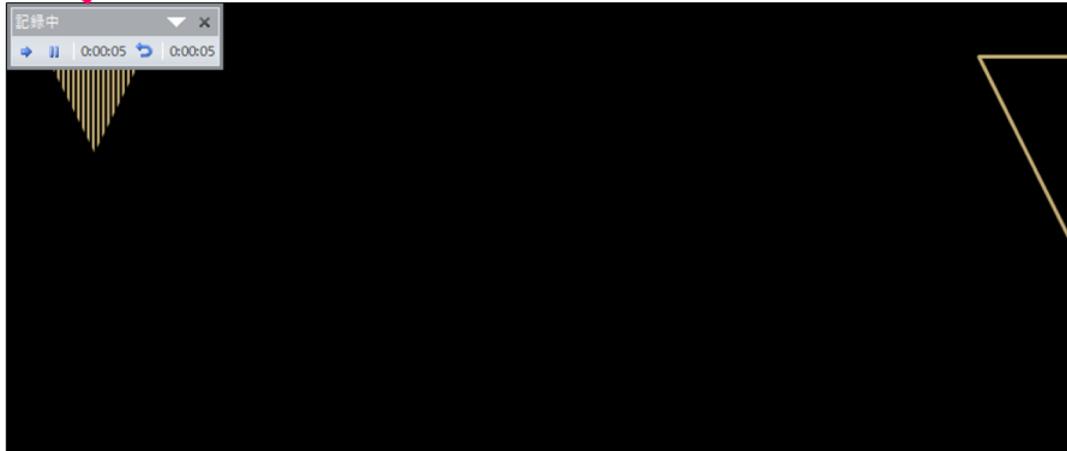
②[スライドショーの記録]をクリック



③[先頭から録音を開始]をクリック

④[スライドショーとアニメーションのタイミング]
[ナレーションとレーザーポインター]のチェックが
入っていることを確認して記録の開始

⑤左上の記録中を確認し、プレゼンテーションを進める



⑥スライドショーを最後まで進めて終了して、
スライド一覧表示にみていただくと、各スライドの
左下に時間が明記されていることを確認。
PowerPointを保存(新しく名前を付けて保存)する。
再度ファイルを開きスライドショーで確認して、
音声やスライドのタイミング等問題がないか確認。

⑦スライドを確認して問題なければ、書き出しを行う。

[ファイル]→[保存と送信]→[ビデオの作成]
で書き出します。



ビデオ解像度は[1920×1080]を選択



[記録されたタイミングとナレーションを使用する]を選択

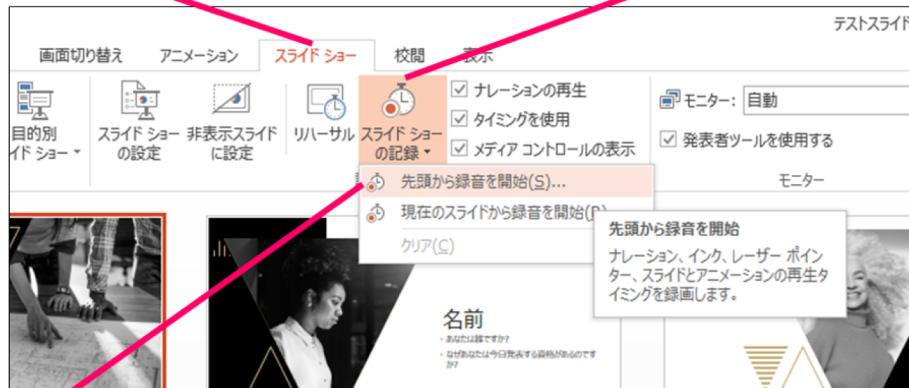
最後に、「ビデオの作成」をクリックすると、すぐに「名前を付けて保存」という
ウィンドウが現れます。ファイル名を指定し、ファイル形式で**MPEG-4ビデオ**形式を選択しますと、**.mp4**
ファイルが作成されます。
右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。

動画作成の進捗は、右下に表示されます。20分のスライドショーから中程度の品質(1920×1080)
の動画を作成するのに約20分かかります。

Windows PowerPoint2010の場合

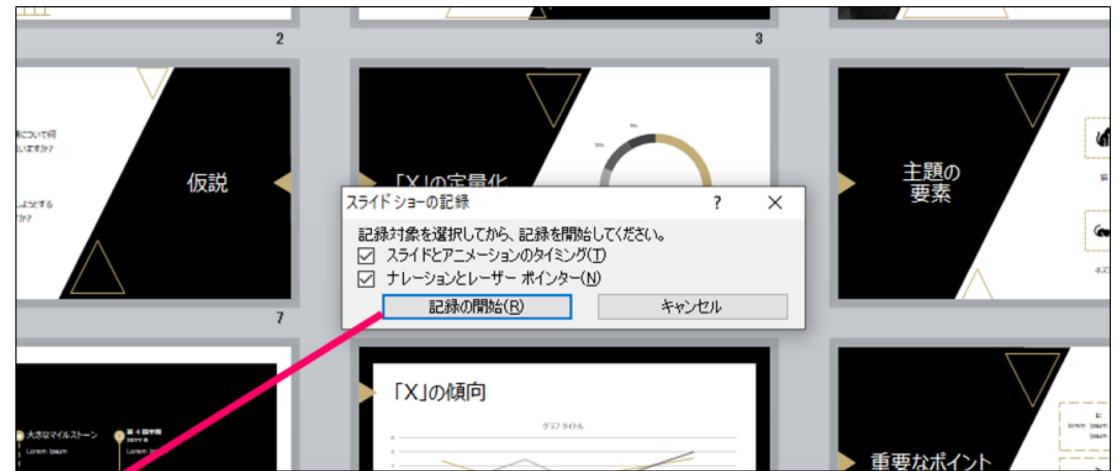
2020.11.17追記 運営事務局で確認したところ、mp4 ファイルでの書き出しに対応していません

①[スライドショー]タブをクリック



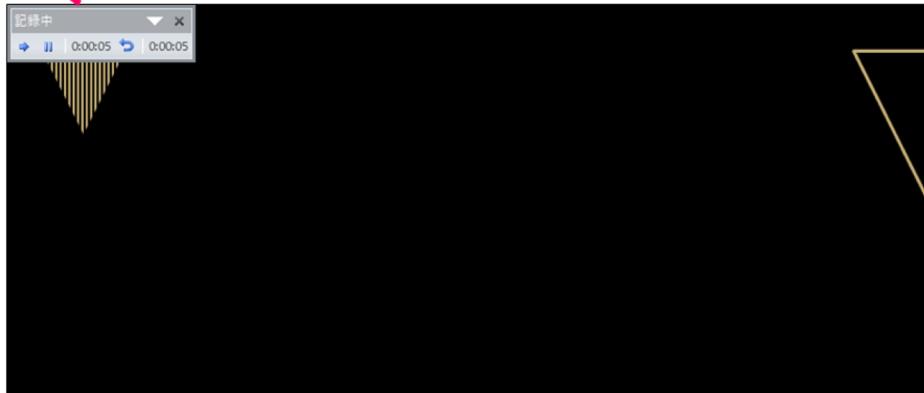
③[先頭から録音を開始]をクリック

②[スライドショーの記録]をクリック



④[スライドショーとアニメーションのタイミング]
[ナレーションとレーザーポインター]のチェックが
入っていることを確認して記録の開始

⑤左上の記録中を確認し、プレゼンテーションを進める

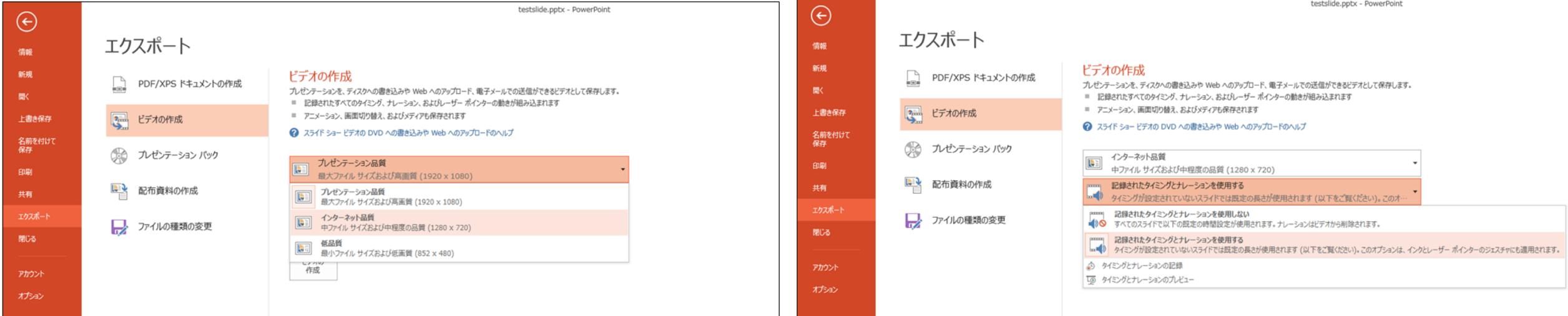


⑥スライドショーを最後まで進めて終了して、
スライド一覧表示にみていただくと、各スライドの
左下に時間が明記されていることを確認。
PowerPointを保存(新しく名前を付けて保存)する。
再度ファイルを開きスライドショーで確認して、
音声やスライドのタイミング等問題がないか確認。

⑦スライドを確認して問題なければ、書き出しを行う。

[ファイル]→[保存と送信]→[ビデオの作成]

で書き出します。



ビデオ解像度は[1920×1080]を選択

[記録されたタイミングとナレーションを使用する]を選択

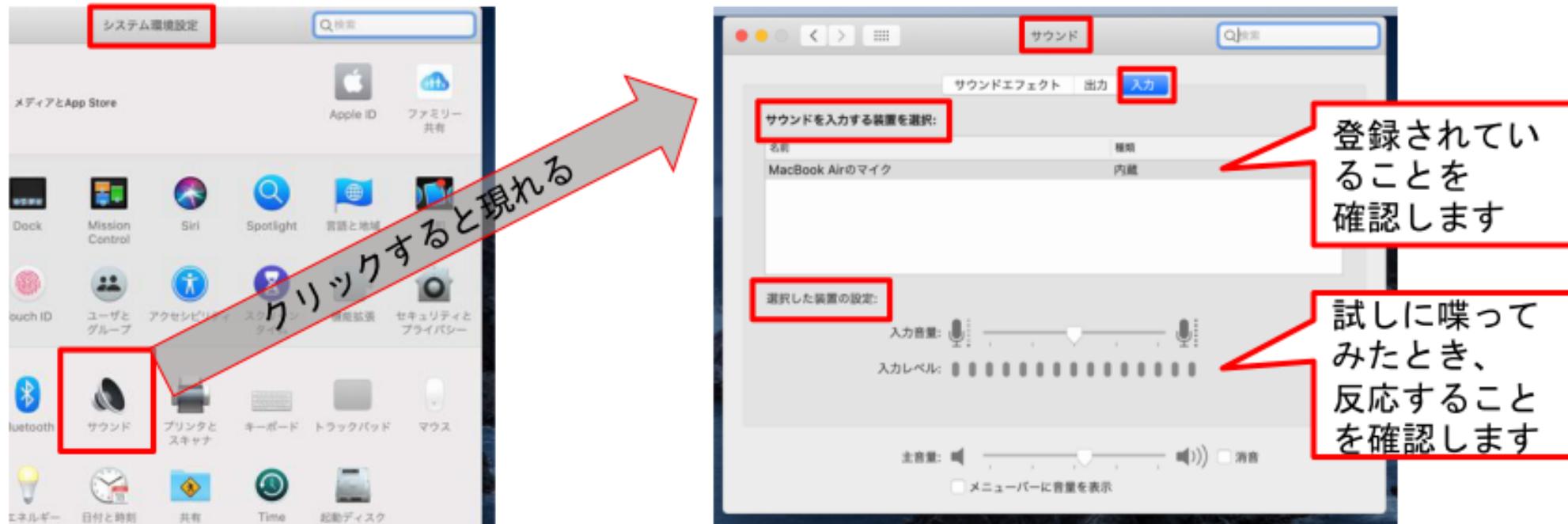
最後に、「ビデオの作成」をクリックすると、すぐに「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。ファイル名を指定し、ファイル形式では**MP4形式**を選択します。右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。動画作成の進捗は、右下に表示されます。

2020.11.17追記 運営事務局で確認したところ、mp4ファイルでの書き出しに対応していません。
他のバージョンをご使用ください。

Mac
PowerPoint for Mac 2019の場合

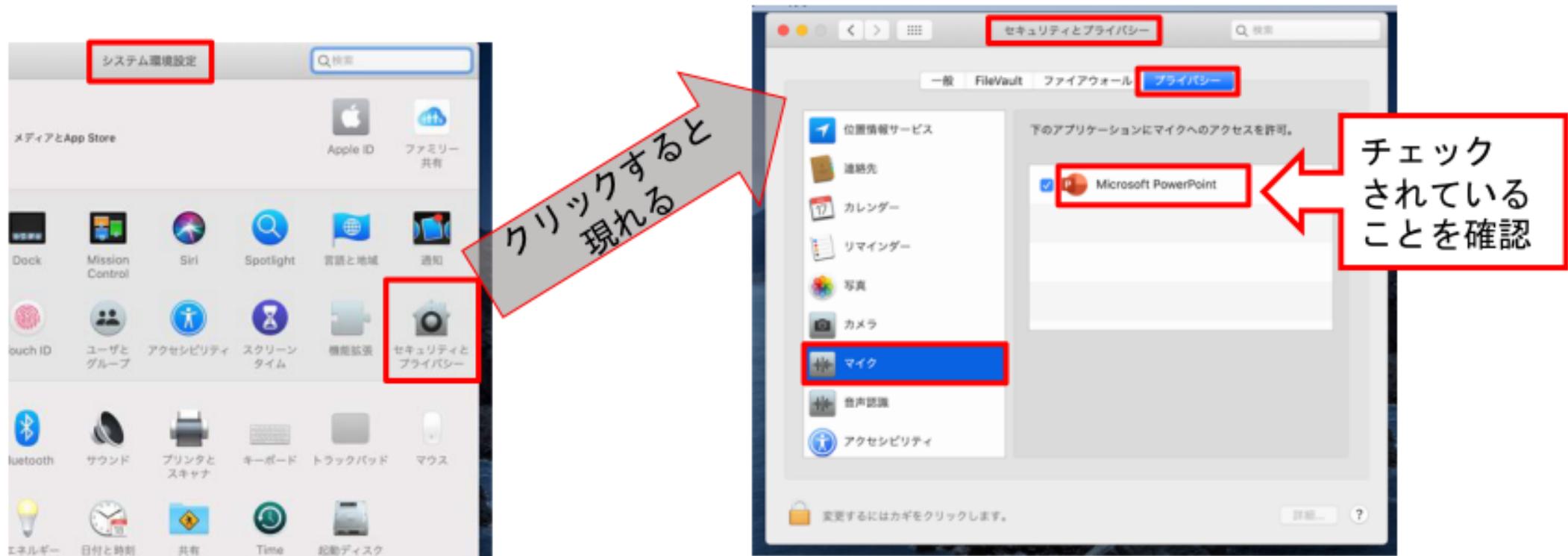
マイクの確認

「システム環境設定」>「サウンド」>「入力」をクリックし、入力デバイスが登録されていることを確認します。「選択した機器の設定」では試しに喋ったときに反応するか確認します。



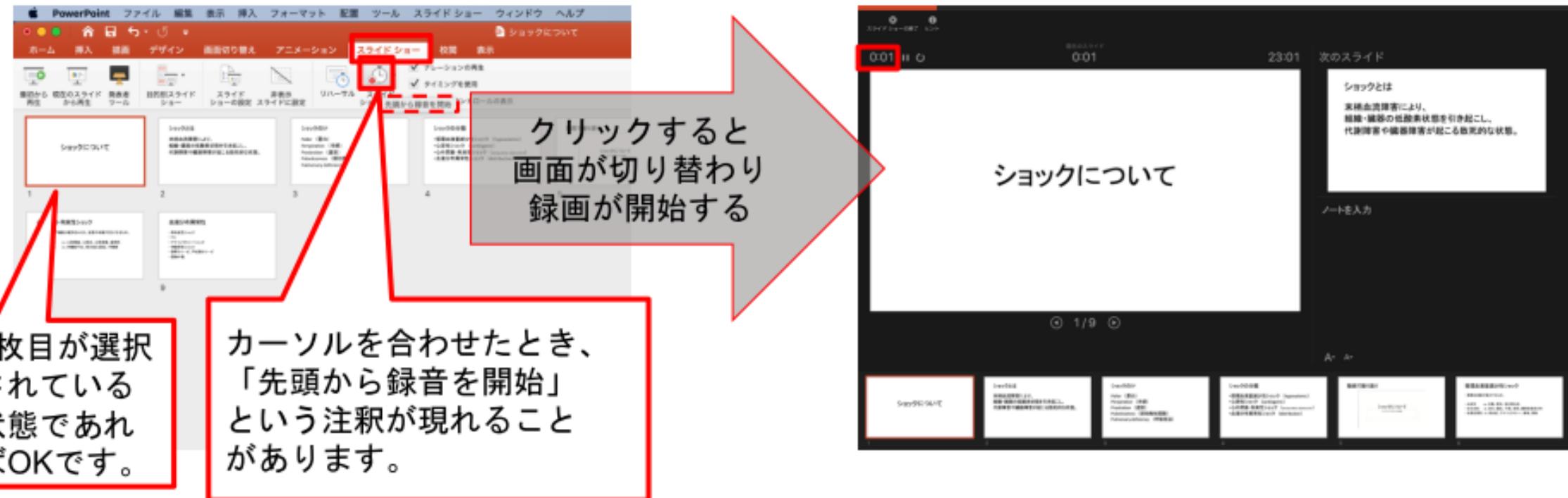
PowerPointでのマイク入力の確認

「システム環境設定」>「セキュリティとプライバシー」>「プライバシー」>「マイク」を選択し、PowerPointの項にチェックが入っていることを確認します。



PowerPointでの録画の準備

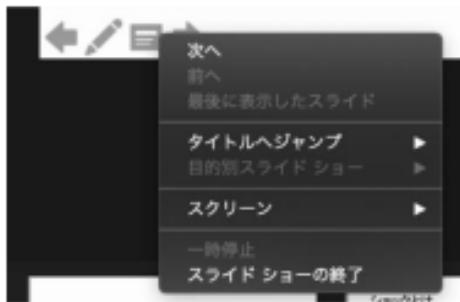
PowerPointでスライドを開き、1枚目のスライドが選択されているのを確認します。「スライドショー」>「スライドショーの記録」をクリックすると、自動的に、画面がプレゼンの発表者ビューに切り替わり**録画が開始**します。



スライドショーの実施

いつも通り、スライドショーを行ってください。ペンやポインター等も使えますが、最終的に動画で記録されるのは、スライド移行のタイミングと音声のみです。また、前のスライドに戻ると、戻ったスライド以降の録音が取り消されることに注意してください（前のスライドに戻るのは推奨しません）。

記録中も、左下のスライドショーツールバーから、一枚目または一個前のスライドに戻れます。ただ、戻るのは推奨しません。



ショックのSP

- Pallor (蒼白)
- Perspiration (冷感)
- Prostration (虚脱)
- Pulselessness (脈拍触知困難)
- Pulmonary deficiency (呼吸促迫)

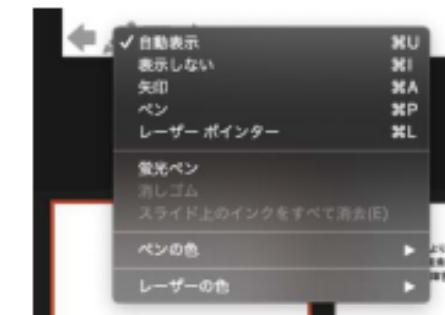
ショックの分類

- 循環血漿量減少性ショック (hypovolemic)
- 心原性ショック (cardiogenic)
- 心外因性-拘束性ショック (extracardiac-obstructive)
- 血流分布異常性ショック (distributive)

ノートを入力

3 / 9

左下のツールバーから
ペン、蛍光ペン、
ポインターが使えますが、
これらに関しては記録さ
れません。



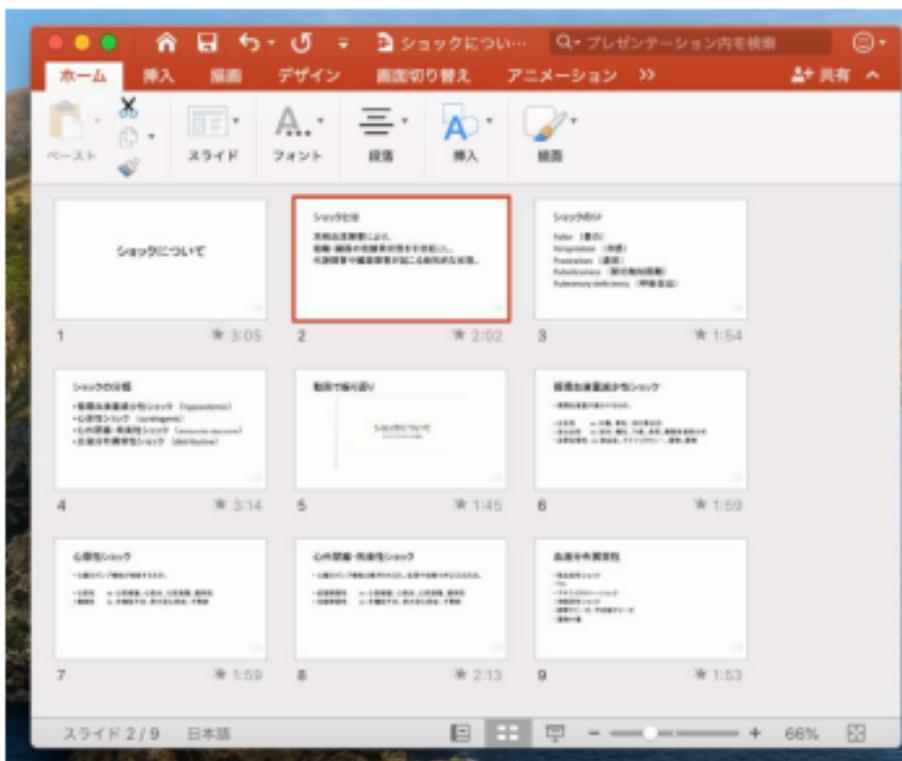
スライドショーの終了

スライドショーを終え、左上の「スライドショーの終了」をクリックすると、「今回のタイミングを保存しますか?」という質問が現れるので、「はい」を選択します。



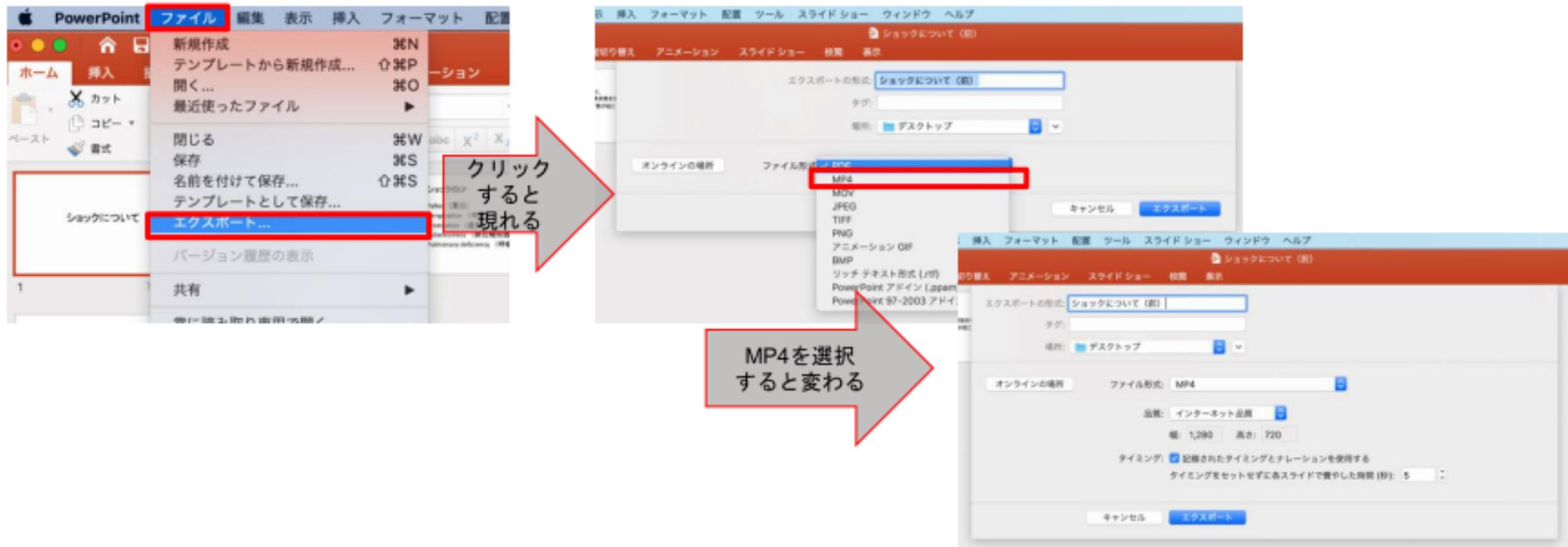
動画に入れるスライドの選択

動画に入れるスライドを選択します。非表示設定をしない限り、全てのスライドが動画に組み込まれてしまいます。プレゼンで使用しなかったスライドや動画に入れたたくないスライドは、このタイミングで非表示スライドに設定することを推奨します。



保存先の選択

「ファイル」>「エクスポート」をクリックすると、ウィンドウが現れます。ファイル名、保存先を選択してください。ファイル形式でMP4形式を選択すると、詳細が設定できるようになります。



画質の選択、動画作成と保存

品質は「インターネット品質」を選択し、「記録されたタイミングとナレーションを使用する」にチェックがついていることを確認します。「エクスポート」をクリックすると、動画が作成され、自動的に保存されます。

